

あなたのために、みんなのために

受けていますか？がん検診



蒲郡市のがん検診における がんの発見状況

平成15年の日本全体の死亡者数は、約101万5千人です。そのうち、がんによる死亡者は約32万人で、前年と比較して1万9千人も増加しています。昭和56年以降、心臓病や脳血管疾患を抜いて死因の第1位を占め、死亡率は年々増加しています。

蒲郡市でも、平成15年にがんで亡くなった方は204人で、市内全死亡者数の28・9%を占めています。約3.3人に1人ががんで亡くなっている状態です。

年齢別にみると40歳代から増え始め、特に50・60歳代のがんによる死亡者は、約50%にもなっています。働き盛りで亡くなっている人のうち2人に1人が、がんを命を落としています。

がんは早く見つければ治る 病気で

平成15年度1年間、蒲郡市のがん検診を受診した方で、14人の方にがんが発見されました。早期がんが発見された方は、定期的に検診を受診していた人が多かったのに比べ、進行がんが発見された方は、定期的な検診を受けていなかった人が多い状況でした。

がんは、がんの芽ができてから何年もかけて大きくなります。多くのがんは、早期に見つけて治療に結びつけられ、体のあちこちにがんを作ってしまうこと（転移）を防ぐことが

できます。また、治療の負担も軽くなり、その後の経過も良くなります。発見が早ければ早いほど、完治する確率は高くなります。

今では、がんは不治の病ではなく、治る病気といわれるようになってきました。しかし、がんを治すためには早期発見が不可欠です。自覚症状のないまま進行するがんを発見するには、定期的に検診を受けるしかありません。

医療技術の急速な進歩により、今ではごく小さな初期のがんまで発見できるようになっています。「自分はきつと大丈夫」「めんどくさい」「がんが見つかるのが怖い」などと思わず、自分のために、そして家族のために、必ずがん検診を受けましょう。

こんな症状に要注意!! 「がんの危険信号」

種類	症 状
胃 が ん	胸やけ、胃がもたれるなど胃の調子が悪い
肺 が ん	咳が続く、たんに血が混じる、声がかすれる
大腸がん	便秘と下痢を繰り返す。便に血液や粘液が混じる
乳 が ん	乳房にしこりがある
子宮がん	おりものや不正出血がある

※このような症状があったら、早めに医療機関を受診しましょう。初期のがんは無症状の場合が多いので、症状がなくても定期的に検診を受けましょう。